

人口・社会統計に関する統計整備の重点的課題について（未定稿）

【医療・健康・介護】

- 業務記録等の活用及びそれによる客体の負担軽減、調査の効率化
- 医療費に関する統計の国際比較性の向上
- 医師不足・偏在、僻地医療対策等に資する観点からの、地域別の医師、薬剤師等の潜在的有資格者数の把握

【教育】

- 統計調査の効率的な実施
 - ・学校現場等の日々の業務記録のシステマティックな統計への活用
- 統計調査や分析の充実・改善
 - ・校内暴力、不登校、いじめ等に係る定義・分類基準等の妥当性やデータの信頼性の向上
 - ・高卒就業者（就職内定者含む。）の家族状況、就職後の就業状況等の実態を把握できる統計の整備
 - ・学習状況、生活状況、自己形成、進路形成等、どのように労働市場や社会生活に入っていくのかといった事項を小学生高学年から継続的に把握できるパネル調査の創設
 - ・教育の「質」や効果（成果）の分析
 - ・学校教育が貧困の再生産を防いでいるかを検証する観点からの、貧困と教育の関係の把握・分析（奨学金取得状況や大学進学状況と世帯の経済的状況とのクロス分析など）
 - ・地域別の潜在的教員有資格者（免許取得者数）数等の把握
 - ・学校教育に係る教育費（公的支出、私費負担）に係る国際比較の観点からの統計の整備
 - ・学校外学習に係る費用面、実態面の把握及び国際比較の観点からの統計の整備
 - ・社会教育施設等の利用者サイドの情報（利用率、参加率等）の把握
 - ・教育の経済的・社会的機能（内部収益率、外部収益率）や教育機会に関する分析 など

【治安・犯罪・防災】

- 犯罪防止等の対策に資する観点からの統計調査の改善
 - ・犯罪加害者の自己申告調査（標本調査）の創設
 - ・「犯罪被害実態（暗数）調査」のサンプル数の拡充

【労働・雇用】

- 働き方の多様化への対応（非正規雇用に係る統計の見直し・改善、各種定義の見直し・統一、就業の捉え方に係る見直しなど）
- 労働時間の捉え方に係る改善・工夫（対世帯結果、対事業所結果の差異分析を含む）
- 労働・雇用に関する制度面を総合的に把握する統計の整備
- 結果の速報性向上策（コンピュータ・ベースの調査への移行など）
- 給与・賃金に関する統計の整理・統合